

広報

# おかわ

2002

11/1

No.1177

主な内容

旧林家住宅が重要文化財に指定  
平成13年度決算報告  
生涯学習だより・社協だより



## ファミリーフェスティバル2002秋 —親子でふれあうおやつ作り—

10月14日の体育の日、ファミリーフェスティバルの催し物のひとつ、「親子でふれあうおやつ作り」が男女共同参画センターで行われ、約50名の親子が参加し楽しくおかし作りに挑戦しました。上手にできたかな？  
(ファミリーフェスティバル関連グラフ38ページ)

近代製糸業の黎明期から発展期の製糸家の居室  
れいめい き

# 旧林家住宅が国の重要文化財に

## シルク系都岡谷の遺産



10月18日開かれた国の文化審議会(会長高階秀彌)は、岡谷市の旧林家住宅を重要文化財に指定するよう遠山敦子文部科学相に答申しました。

旧林家住宅は、製糸家林国蔵の居室として明治30(40年代)に造られた建物です。平成元年に土地を取得、建物は寄付され、平成2年には岡谷市指定文化財となつて、平成6年から一般に公開されてきました。

これまでに整備や、調査が行われ、13年3月には、建物、調度品などの調査報告書が発刊されたことを契機に、主屋の重厚な造りや、近代化遺産の金唐紙きんからかみを部屋中に貼りめぐらした座敷など、近代化遺産の重要な遺産の一つとして注目され始めていましたが、「意匠的に優秀なもの」として認められ、国の重要文化財に指定されることになりました。

製糸業は、産業のまち岡谷の基を築いただけではなく、日本の産業の近代化に大きく貢献したといわれています。製糸業の歴史はさまざまに見方がありますが、その遺産の一つが重要文化財に指定されるということ、岡谷にとつては大きな誇りとなります。

教育委員会では、これからもさらに、正しい製糸業の歴史を広く伝えていくために、また日本の伝統的なお茶、お花、着物の着付けなどの「座」の文化を伝承していく建物として、保存・活用していくことを考えています。





主屋正面



主屋2階 下座敷・上座敷



仏間



洋館玄関ポーチ



洋館応接室



金唐紙の座敷 (2階)

### ◆観覧案内

- 開館 3月～11月の毎週火・水・土・日曜日  
午前9時～午後4時30分
- 観覧料 大人 550円 (350円)  
小人 250円 (100円)  
※市内小中高生は無料、( )内は  
10名以上の団体料金



### 旧林家住宅

#### 問合せ

教育委員会生涯学習課  
文化財担当  
☎23-4811  
(内線1462)

### ふるさとの製糸を学ぶ会

よこた ゆきこ  
横田 幸子 さん



16人の仲間と製糸の歴史を掘り起こす活動をし、この建物にも携わっていますが、林国蔵氏の見識とセンスの良さを痛感し、世界的に例のない5種類の金唐紙など、素晴らしいこの文化遺産を次の世代に伝えていきたいと考えていたところ、重要文化財に指定され大変うれしく思っています。これを励みに掃除や障子貼りのボランティアをより心を込め大事にしていきたいと仲間と話しています。